

人影の採集ーフロッターージュ 美術 千葉県立船橋芝山高等学校 古川 泰之

□どの科目でもできます。数人のグループでの制作に向いています。季節、時間帯の制約があります。

□1時限で現場での作業は終わります。

□この授業で付けたい力

太陽光線と人型と地面の質、形状の組み合わせの偶然が示す形態は多様です。作為性をできるだけ排して、地面に現れた形に従います。偶然性、形への気づき。そしてフロッターージュ=写し取りによる質感、記録性への気づき。また、「塗りつぶす」行為がもたらす原初的な快樂。これらの体験を通して図像表現への感受性を深めたい。

□展開

1 場所とポーズを決めたら急いで輪郭を写し

2 塗りまくり



3 できた



2015年の9月末、1時限目に美術3(選択)で実施した例です。

使ったもの

クレヨン(ここではあおとくろ)、白のクラフトロール紙
クレヨンは乾燥と定着に課題があります。色はペールトーンを使用すると恐怖感は薄まります(展示する場合)。紙は丈夫で柔軟性のあるものがより向いています。フロッターージュに重点を置くなら、拓本技法を取り入れるとより正確な転写ができるでしょう。

□観点別評価によるまとめ

○おもしろかったかな? ○どんな感じだったかな? ○また、やらない? ○見え方変わった?

□感想など

生徒からは「おもしろかった」、「新鮮」などの感想が聞かれます。これまでの実践は授業内のレクリエーション的位置づけにとどまりますが、写真やスケッチとは別種の具体性を持つ素材として、また、描くことの意味を問い直す契機として、着目しています。理屈はともかく、地面(基底材)のデコボコを写す-移す行為に身を委ねる快感。楽しい、面白い造形体験になります。